

## 令和5年度 第1回三島市郷土資料館運営協議会議事録

<日時> 令和5年7月19日(水) 午後1時30分から午後2時45分まで

<場所> 郷土資料館 多目的室

<会議の公開・非公開の別> 公開

<出席委員の氏名> 迫田信行、加藤雅功、奥村徹也、増島淳、橋本敬之 坪井則子、  
齋藤幸蔵、小藪余志美、大村朱実、西島真美

<事務局出席者氏名> 小塚教育長、鈴木教育推進部長、辻文化財課長、芦川郷土資料館長、柿  
島学芸員、古屋副主任

<傍聴人> なし

<内容>

- 1 開会 事務局
- 2 教育長あいさつ 小塚教育長
- 3 委員長あいさつ 迫田委員長
- 4 議事 (慣例により迫田委員長が議長で議事進行を行う。)

(1) 令和4年度事業経過報告について 芦川館長、柿島学芸員、古屋副主任が説明

<委員質疑>

委員 資料4ページの入館者数、令和3年度9月が0人なのは、コロナ禍で入らなかったか？

事務局 感染者増により、8月20日から9月30日まで休館していたため。

委員 2教室・講座(3)団体利用実績の中、市外はどここの小学校か？

事務局 去年は伊豆の国市、長岡北小でした。多いのは、函南町、沼津市、清水町。

委員 目標値ぐらいの入館者数か？

事務局 コロナ禍前は通常6万人から6万4,000人ぐらいの間、以前は入館者数増を目標として増やす方向だったが、今は6万人前後です。

館としては資料整理のために開館日を減らすこと、図書館でも図書の整理日とかを半期に1度ぐらい1~2週間入れているが、この館には全然ない。参観者はいれない形で業務の調整をしていかなければいけないかと考えています。

委員 教室・講座、色々な事業をたくさん実施して、職員が大変ではと思うので、その辺を精選するのでは？

事務局 郷土教室は以前21回位から減らすようにして、今の数に、これが適正値かなと思っています。これ以上減らすとボランティアの皆さんの活躍の場が少なくなってしまうので、ちょうど、いいところでないかなと考えております。

委員 難しいですね、ボランティアを活用しようと思うと、ボランティアを指導しなければいけないし。

事務局 ボランティアは大切です。なくてはならない。古文書整理、膨大な量がここ何年かが進み、仮目録が刊行され、本当にありがたい限りです。郷土教室にしても、多いとき参加者が95人、そのようなときは職員だけでは手が回らない。

委員 ボランティアは開催回数が減ると、参加者も少なくなってしまう、コロナ禍で、色々なものが中止となり、家にいるのが習慣になってしまうかなと思うので、ある程度のペースで参加できる機会があると良いなと思う。

それから、講座・作業をするスペースが別にあつたらと思う。古文書の剥離作業をやるたびに片付けなくてはならない、そのまま広げておくところがあれば、週1回でもボランティアが来て、みんなでどんどん進むと思う。

やはり、この部屋が余りにも多目的過ぎて、このような会議も、私たちの作業も、それから、子どもたちを集めて何かするという時にも多目的室を使うということを見ると、どこかボランティアが、作業できる部屋があれば、もっと活躍できる。子どもたちにも、色んな体験をさせてあげられる。ぜひ、郷土資料館、設備の充実もしていただければ、有難い。

委員 たまたま外国の方が、バスツアーで楽寿園に来られていたが、こちらの館にも入られるのか？

事務局 来館する確率が非常に高く、結構見えます、パンフレットは常設展示の分しかないが、出て行かれるときには、違った文化が見えたような顔で帰られる方が非常に多いです。常設展示にはチャールズ・モリヤマ氏の寄付で英語キャプションを追加しています。

## (2) 令和5年度事業計画（案）について芦川館長、柿島学芸員、古屋副主任が説明

### <委員質疑>

委員 歴史的風致維持向上計画推進事業では、どんな冊子、リーフレットを作る？ 本のようなものにはならない？

事務局 いろいろな団体が三島市にはあるが、歴史を使っていろいろなことをなさっている団体の方に、それを周知してもらうために、リーフレット作成のすすめを、「歴まち」が始まってから続けています。もう何冊かは出てはいるが、それを継続して行うための予算になっています。

本でなく、リーフレット止まりです。まだ今「三島遺産」という言葉はないが、ゆくゆくは、三島の遺産が、私たちの市にはこんなものがあるのだというのを知ってもらうために続けている事業です。

委員 いま、学校の教室は空いている？

事務局 詳細はわからないが、いろいろ用途を変えて、部屋を使っているのではないかと思います。最近、館も引越しをして、坂小学校の体育館の下に収蔵施設として、一括して収めるような形ですが、他課も利用し、満杯に近い状態ですので、さらに他を探しているところです。どうしても、うちのようなどころでは、虫とか黴

とか気になるので、なかなか学芸員の目が届かない外部施設に収蔵品を置くというのは厳しいなと思います。

委 員 割と予算規模が縮小されてきた？

事務局 維持管理に関係する管理運営事業費は、館の維持管理業務が包括管理委託として、公共財産保全課（委託業者：日本管財）に移ったため、減りました。

それでも、今年、去年、一昨年、企画展示事業費は多かった方で、県が取りまとめて3ヶ年（R3・4・5）、大河ドラマ絡み（北条義時・徳川家康）にて、県全体で「地方創成推進交付金」をとってしまして、去年の企画展「三嶋暦 武士の世の暦」と「三島ゆかりの文化人たち」、今年度は「三島宿の暮らし」展に、1/2補助が出ております。

事務局 次の展示で予定している「東海道分間延絵図」の控えなのですが、重要文化財に近いものをお借りすることになっています。東博（東京国立博物館）にあるものが重要文化財になっていて、郵政博物館にある控えの方を借用することになっており、控えの方は重文指定でないので、うちでも借りられ、今までも、写真だけは何度も使っているが、実物はなかったのが、今回ようやく実物を展示します。

委 員 小学生など、石、現物を触れるような企画とかはやらない？石の加工品を実際に使ってみるとか？

事務局 実は、郷土教室では、石臼・製麺機等は使っている、土器の関係では、縄文式と弥生式を分けてみようといったように本物を触らせています。すり石や、たたき石をたたいてしまう、すってしまうと資料価値が落ちてしまうし、旧態を留めなくなってしまうので、本物を使うのは、非常に心苦しい、とは言え、石臼が良いのかといたら、本当はよくないのでしょうか。

委 員 3階の風俗絵屏風（写真）、リニューアル後からなので、相当、色が落ちていると思う、結構大きいものを複製するとお金もかかると思うので、予算に上げる努力をしていただいて、なるべく本物に近い状態で展示していただきたい。土器とかは、10年、20年と色は変わらないが、写真とかは色が落ちていくので、何年かで作り替えをお願いしたい。

議 長 では、議事はこれで、その他、何かありましたら？

委 員 土地的に、何か建物を建てるのは非常に面倒なのですか？

事務局 プレハブとかなら。でも、プレハブで在庫管理するというのも多分無理ではないかと思いますが、この部屋も、今、除湿機まわしています。

委 員 建屋に調湿ボードを使っていますか？

事務局 調湿ボードでなく、アートソープ（調湿材）を入れて調整して、ケース内はちょうどよく保っていますが、収蔵庫とかは調湿機で、今、何とか対策している形です。

## 5 閉会 事務局 〈終了〉

その後、今回の企画展「学校美術品展 part 1」について、担当の保科学芸員(会計年度任用職員)から、展示解説を行った。